

バストス週報

第八四〇号
昭和四十一年
六月十日
発行

DIRETOR
KOITI MORI
REDATOR
SHION ODA
RUA PRES.
VARGAS 188
C. POST. 112
FONE. 40
BASTOS
C. P.
ANUAL
CR. #
4.000-

青嵐 21

披露宴革命

コロニアの結婚式と披露宴という儀式は誰が考案したものか知らぬが、地域に上らず大抵似たりよつたりのもので、リ方も御馳走も余り変わったことはない。うだ。日本各地の異なった風習をブラジルへ持ち込んで来て披露宴をやつて居る。ち長所持徴などを取り入れ、いつとはなれに現存のようになつたもの、思われ

日本ならは、小人数の客なら自宅でも間に合うが、五十人八十人となると料理屋旅館の広間ホテルのサロン食堂ということなり、東京大阪のような大都会だと一流のホテルが利用され、又は貸会館があつて事を欠かない。ホテルなど宴会場で洋式にやる時、八品の皿が給仕人によつて運ばれ、その間に適当に酒が酌がれ、ものの一時間が二時間たつて、デザートに入り、二三人の祝詞があつて、それで料理開き、あつけないようなのが多い。料理屋などの場合は大抵若者が相当入つて来て取りもつので、新郎新婦の退席後は、い加減賑やかなことなるようだが、こんなやり方は金がかかるので、誰にでも出来る方法ではない。

近頃では披露宴の簡易化が叫ばれ、時とする集団挙式など十はひとかり、大根か人蔘のような扱いで、フロント、両家、親戚、親戚数人で、一はい祝酒をのんで、おしまい。新郎新婦はハネムーンで雲がれ、第一巻の終りである。昔とちがつて、この方面もだいたい革命が行われてきたわけである。

コロニアでも、聖市などで料理店ホテルで披露宴が行われ、教度招待されたことがあり、又自宅で教室を解放し、立食の饗応を受けたこともある。都会は都会なりにうまくやつて、さつさと退散する傾向が強い。さつと食べて、さつさと退散する傾向が強い。さつと食べて、さつさと退散する傾向が強い。

岡田兄弟

石材工場

営業種目

- 石材仕事一切
- 墓碑 記念碑
- 石燈籠 石白
- 井戸用石材一式
- 既成墓石修理
- 場所

Fabrica de Granito Irmãos Okada

旧池田ホテルの向い角
ルアオスワルドクルス 四三五
電話 バストス 一三二
郵便 一八四
御用命 願上げます

Sapataria Bastos



靴も六月のスタイル
です...
シツキで、はき心地万点
その上丈夫で、安い...
早川のクツ

し出すが、奥地の邦人間では大同小異である。ホルコの丸焼などは現時では見たこともないが、入植当時から十年位まではよくメリザに飾られたものだった。渡伯まもない頃では大バンヤに、しゃがんだ豚小豚の丸焼は全くグロテスクで、睡のたものである。昔はウエディングケーキなどは無か

つたようだ。バスターズで新郎新婦の前に
 掲え頃を見計らってフッパを入れた最初
 の人は誰であつたらうか。はつきりし
 た記憶ではないが戦後四五年からではな
 かつたかと思ふ。今日ではあのケイキが
 ないとかサメントらしくない程一般化さ
 れて来た。披露宴中のクライマックスと
 いうところである。それも進行係の気の
 さいだ紹介があれば一層華やかな雰囲気
 が盛り上がるであらう。
 今去つた進行係 司会者がバスターズの
 饗宴に姿をあらわしはじめてのはいつの
 頃からであつたか。はつきりはわからな
 いがやはり戦後の披露宴からであらう。
 ことに披露宴がはじまる前からランチ
 キ騒ぎに到るまで司会者の指揮棒一本で
 自由に引張りまわすような芸道をあみ出
 したのはバスターズでは本田正雄、崎田
 春一、重道永栄、太郎田衛の諸士である。
 本田氏は今は抜けてしまいが、崎田太
 郎田の両氏はホ語と両刀使いわけける実力
 をもつて居り、ホ語専門となると小林平
 行氏などが有力である。
 コロニア日系人のみの披露宴の場合
 日本語ばかりで、冒頭から演説一本槍で
 もよかつたが客席に伯人がまぎつてく
 ると、演説や挨拶はウルチモでなくては具
 合がわるく、戦後二十年かかつてヤツと
 作り上げた型はどうやら手入れをしなけ
 ればならぬ時期が来たようにも思われる。
 日本人式に考えると「皆さへようこそ
 これから開会いたします」と前おきをし
 て媒妁人の挨拶、両家々長の挨拶などが
 あり、引ついで乾杯、それから着に手
 をつける方がさまりがついてよいと思
 う人が多い。ごちそうを前になうべて、お
 あすけを食つた大みたいに舌なめずり
 をし下ら、挨拶の言葉など上の空で耳に
 入らず、はかしく感ずる人も多いこ
 とであらう。
 この辺で披露宴司会方式を改革せしめ
 などという空気が動き、去る五月廿八日
 柴田本田両家の披露宴には新方式が採用
 されることになつた。
 太郎田司令官進行ラッパを吹き、小林
 平行氏乾盃の号令をかける。ホルツゲ
 スで何やら発声ヒーヴ三唱する。二百人
 あまりの人のシャンメが静かに始まる。
 頃合を見計らつて司会者が媒妁人崎田
 氏を指定、両家代表が次々と挨拶する。
 時計を見てみると三十分以上かかつてい
 る。以上三人は何れも名演説で非常な感
 激をもち散つした。やはり食事中の方が
 肩がこらなくてよい。
 太郎田司会はマイクをもつて喋り乍ら
 一席つかい相な人物を物色して指名し日
 語ホ語とつかい分けながら多くの人に祝
 詞を喋らせた。
 大体に於て新方式はうまく行つたよう

お知らせ

磯谷鍼灸本院

伯国鍼灸治療界の第一人者

磯谷龍明先生

先生

特別出張治療

いかなる難病にも神効あり

○期日六月二十日より廿六日迄

一週間

場所

ホテル、いさみ

ロードヒアリオ、バスターズ前

求人

コチア、イアクリ種鶏場で働く

家族者を三家族

ソルテイロ(青年)を五名

求めて居ります

希望者は、コチア産組バスターズ倉庫

主任 宇都宮 まで

おいで下さい

である。つまり、これまでのように、かたく
 るしいことをやめ、いきなり乾杯食事へ
 入り、食事中ほくほく祝詞をやる人はや
 り、唄いたい人は唄えはよいので、この方
 が気分的にたのしいというのがねらいで
 ある。
 これからまだまだ考案を重ねてゆけば、
 次第にあかぬけがして、小ぶつほりとし
 たものになるであらう。
 いまにせよ、一つの様式で何年もつ
 づかぬければならぬ規則はない、次第に
 洗練されてゆくことが望ましいではない
 か。

米音

巖島から錦帯橋へ

小沢 勇

「此の音信は昨秋のものらしく前報到着したのである」
 今日十一月廿三日彼岸の中日とて山陽線沿道の所々には日の丸の旗が立てられてある。十二輜連結の電車は西へ西へと進んで行く。笠岡近くの塩田の広々としたのが皆標田となつてゐるのに驚く。今頃は塩田も立体化され旧式のままでは経営が成せぬとの事である。
 広島市に着き水本滝子さんの姉上を訪問する。夫君は碓井松壽とて○年の任職で寺の隣に洋館の立派な補育園を持ち任職であると共に補育園主であり、行き届いた設備に児童を養成して居られ仏道と共に人間教化の聖業に従事して居られる。実に尊崇そのもので自然に頭の下がる思いであつた。御夫妻は心からなる歓待で只恐縮するのみであつた。第一番に岩島に案内するとて電車で宮島駅に下車。巖島迄の渡船も三会社の船が互に交錯し多くの客を運んでゐる。内一番速力の早いので乗船した。
 紺碧の海の彼方に翠緑の巖島。その麓の海中に遥かに見ゆる朱色の大鳥居は何とも云えぬ色彩の調和であり、その近くの山々の紅葉と相俟つて竜宮城の入口であるかと思われた。
 間もなく着いた棧橋を渡り、魚敷に棟を並べる土産物店の中を通つて第一番の大鳥居をくぐり、数多い石燈籠の間から見渡すと朱塗りの長い長い廻廊が海中に浮き上り、其の昔にもこんな木造大建築がよく出来たものだと思つた。左に約三十米の大拝殿に勝ます。左右には宝珠形の燈明台があり、一基に五十の燈を備えてゐる。ここで靴を捨てて草履に替へ、秋殿から高舞台等と経て攝社客神社に詣でる。攝社の中で最も重んぜられたもので、總ての祭典は先ずこの神社で行われる。総長約二八〇米、幅員約四米、柱の間が二米半という。海中に入る足の柱は全部赤間が石の大廻廊は無數の燈籠をつらして海中に影を写して海中の大鳥居（総高十六米余）と共に海の碧と翠の山とに包まれ神秘の美観さうばかりなし。
 五層塔婆（五重の塔）は応永十四年七月の建立。高さ二七米六、方四五米は碧空に聳え立ち近くの千疊閣は天正十五年豊臣秀吉が建立した大経堂で、今は巖島神社の末社豊国神社であるが、桁行約四十一米、梁間三十二米の大建築で瓦葺、当面に金箔を施した豪壮な桃山建築に一

御 礼
 故母堂小竹様御他界に際し香奠返しとして御奇贈下さいました、厚く御礼申し上げます
 バストス 連合佛教会

御 礼
 故小竹刀自様御葬儀の時香奠返しとして御奇贈いたたきました、有難く御礼申し上げます
 バストス 連合仏教婦人会

御 礼
 故母堂ふく様の供養のための御奇進ありかたく頂戴いたしました
 バストス イグレッジア建設委員会
 西川 統平様

御 礼
 故三年忌供養のため右の通り御奇進下さいました、厚く御礼申し上げます
 バストス 南米本願寺
 菅井みつ様

御 礼
 右は故母堂様の香奠返しとして御奇進下さいました、謹しんで拝受申し上げます
 バストス 南米本願寺
 塩館 保 様

御 礼
 故庄礼信古様の香奠返しとして御奇付ありがたく御礼申し上げます
 バストス 連合佛教会
 石橋長児様

驚を喫しつっつ紅葉山に入る。閑寂な楓の
 密林の下に薙ぎのべて瓢を傾ける人多く
 過ぎ行く秋にふさわしい頬笑ましい光景
 である。

広島市に帰った時は短かい秋の日は真
 暗になつていたが、流石に大都市だけに
 街は真昼の明るさ。広島一といわれる社
 囃飯店四階建の洋館に夕食の御馳走にな
 る。次に車を馳つて肘山に登り展望台か
 ら望む全広島市の夜景は実に壮大な美観
 であつた。帰宅後抹茶のお手前を茶室で
 教えられた後、御長男の撮影にかかると
 ミリのシネマを上映された。

翌亦四日早朝車で平和公園に向う。

広島市の壊滅

昭和二十年八月七日午前八時十五分一
 閃の怪光走るや一瞬にして広島市三十五
 万の人命を断ち、世界大戦の終末を告げ
 る動搖を作つた。死に埋つた当時の様
 相を確井氏は「いま」と説明される。氏
 の居所は安全であつたが、腕の肉が一文
 もぶらさかり顔の肉もはがされた多くの
 人が逃げて来ては水をくれといふから水
 を吞ませるとそれより死んでいふた。一
 体と人な事になつて居るんだらうと北の
 川の所まで来て見れば河面は全部屍であ
 り文字通りの地獄絵であつた。自分が驚
 狂しなかつたのが不思議であつたと述懐
 される。当時の有様を回顧して慄然とし
 たのであつた。

爆心地と云われた天主堂は原爆ドーム
 として其の悲惨な様相をさらしているが
 いつ倒れるかわからぬので近くへ寄れな
 いようにしてある。その近くの平和公園
 の入口の所に三〇米屋へだてて二つの大
 きな土饅頭がある。これは大きな深い穴
 を掘り三十五万人の骨のみを集めた塚で
 ある。とて確井氏は当時市の付道から集
 めた縁者の人達が瘡痍と死屍の中に立つ
 て北米に対する肺癆をえぐる憤怒の情は
 此の市を一時も早く復旧することこそ北
 米に対する報復であるとの観念が一掃に
 燃え上り、精魂を尽して市の復興に努力
 した。それ故にこそ今日此の立派な広島
 市が出来上つたんだ。当時この町で働く
 人々の顔は一種特別な緊張感があふれて
 居りましたと、眼底に露を宿して語られ
 た。自分も三百七十枚の写真を持つて居
 るが、当時の当局者は焼き捨てよと命令
 し殆んどの人達は焼き捨てたが自分は隠
 匿して今も所有している。救会があれば
 南米に持つて行き皆さんに公開したいと
 思つて居るとの事であつた。

(この痛つすく)

御礼

一 日本製太鼓 一臺
 去る五月八日当寺に於て執行致しました
 品を御寄贈下さいました。此の太鼓は
 尊父初太郎氏の愛用品で貴殿にとつては
 故父上の遺品でもあつたわけですが、ま
 ことにありがとうございまして

五月廿日 バストス南米本願寺
 阿部五郎様

御礼

去る五月八日当寺に於て執行致しました
 将降誕記念花祭りに左記の方々より多
 大の御協力戴きました事を厚く御礼申上
 げます。

バストス 南米本願寺

バストス日伯文化協会様

並に引帯御貸出

伯光 因様 松戸番御貸出舞踊出演

友谷和子母子様 舞踊参加御出演

宇佐美宗一様 電線配置その他

矢萩清雄様(電甲氏) シュラスコ御世話

グランジヤバストス様 大メサ数個御貸出

婦人 腕時計 セイコー中ビニール黒バンド付 (銀時計)

志る五月廿六日 町で失いました。ひろつた
 方は届けて下されば御礼をいたします

フラタクリ教系 丸山 栄

御礼

金十コントス也 御子息、息女様方の
 交通車故三年忌につき遺善のため御寄
 贈の儀ありがたく御礼申上げます

生長の家 バストス誌友会
 菅井みづ様

御礼

金一封 故母上様の香典返として
 御寄付厚く御礼申上げます

州立中学校二年生一同
 西川統平様

御礼

故母堂小竹様の香典返しとして金一封
 御寄贈ありがたく御礼申上げます

バストス仏教婦人会
 塩籠 保様

利休の碑を海眼庵に建てたが、海眼庵が
 この寺と移されると同時に、碑もここに
 移されたのだといひます。
 利休の師であつた紹鷗、仲村新五郎の墓
 や、牡丹花尚伯の墓もここにありませう。
 茶人に縁の深いこの寺は、京都から堺
 と文化が移つて来た、ひとつの過程をし
 らせ、禅と茶が結びついたことを教える
 ものとして、興味深いものがありまして
 存じます。

寄れるかと見え、雨が再び飛石にはね
 返つて勢を増してきた。
 雨にたとされ、茶亭、実相庵の露地籬に
 としかかた、たとき、利休一門の墓の玉垣
 の内より、寺男と見えて、破れ唐傘をさ
 した人のよさそうな老人が、肩に鍬をか
 ついで出て来るのへ、翁は笑顔を伴つて
 「まを来ましたよ」と、声をかけた。す
 べ旧知の間柄と見えて、「お、王子製紙の
 社長はんやおへんか、この雨の中を、上
 うまお詣りしやほりましたな。さあ
 お茶室の寄付のほうへお通りやす。えら
 う裳が濡れはつて、今炭を持って来ませ
 うさかい」と、水屋のほうへ去つたが、再
 び炭斗を持つて戻つて来た寺男は「えら
 う冷ますこととどすな」と、炭を炒へつぎに
 がら、兎月の末までは、梅の花が見事であ
 した。が、この雨で残り花もさつぱり散
 りました。お茶室から見ると、石
 肌の前柱は六体の地藏仏をもつ燈籠より、
 外に見るとかにはさつぱりあらしまへんけ
 ど、社長はんは、この院びしさが、さう
 お好きと、しを、この冬枯の、実相庵が見
 ると、来ました。今日は、お連を、案内して
 来ました。が、一しよと、茶室へ入れさして
 貰つてもよろしいかな、へえ、もう藤原
 暁雲宗匠はんのお連のお方やさかいにか
 めしまへん、さあ、どうぞもちつと、炒の
 傍へお寄りなはつて、と、中老の男にも炒
 縁に誘つた。

「お邪魔をいたします。この頃は、拝見の
 方は、たくさんございませうか、へえ、お
 け様で、先週の日曜日、四十六人も、拝観
 と来て、くれはりませうと、炒に炭をつぎ
 終ると、「早よう和尚さんにお報せして、末
 まは、和尚さんもお喜びどつせ、一久しふ
 りに、社長はんのお点前で、和尚さんのお
 相伴として、頂きますさかい」と、立上つ
 て、露地に下りた寺男の傘を打つ雨音が遠
 ざかつて、つた。

洋服の膝を揃えて、坐り直した中年の男は
 「あなた、王子製紙の前社長、藤原さん
 でございますか、存じませんで、誠に
 失礼をいたしました。
 私、嵯峨流のいけ花を業としておりませ
 総司所の神内仙南と申します。おかげで
 茶室、実相庵の内部の拝観がござまして、
 誠にありがとうございます。

「これは、華道の先生でございませうか。
 馭からずつとお世話になりました。
 製紙の社長は昔のことと、今、七尺の草
 庵を結んで、簡素な院に徹した。下座、
 茶良の長閑堂のわび茶人に、なぞらえて
 茶に、あけくれか老人じや。
 この実相庵は利休宗易の建てた茶室に
 ありませう。あれは、弘化とか、嘉永
 年間とか、昔に焼失して、この茶室は、
 後年再建した方が本當らしい。さうで
 ございませうか、つかぬことをお尋ねいた
 しますか、実業の日本、であつたか、
 何かの雑誌で、藤原銀次郎翁は、感ずる
 と、ころあつて、五十年の茶の生活に、庵
 茶を宣言せられた、といふ記事を見たと
 うな記憶がございませうか、
 「いや、あれは、おつぎ合いや、金のわか
 る茶に、近頃の言葉のレジスタンスをし
 たまひで、お茶の精神を捨てた力であ
 りませう。
 おもしろ茶のあり方に、真実を求めざる為
 最前も、いうたとおあり、今、長圃を、氣どつた
 茶の、あけくれと、ま。
 私には、サウリーマン時代(三井物産)は、お茶
 など、ゼイタクで、ケシカラン、モカ、と、敬視して
 おりました。が、社長(大茶人、益田孝氏)の深謀
 遠慮に、マワリ引か、つて、この道に入り、まいた。
 以下、決号

Foto Miyazaki

フオトスタジオ 実相寺

五月はじめより
 アデマール バードス街
 元 重道商店を改修して

旧に倍してお引立下さる
 芸術的肖像写真

重道商店時代よりの
 リキガス 御使用者に
 申し上げます
 引つぎが、お取次い
 しますから御用命下さる

御案内

講演と映画の夕

来る六月廿五日午後七時より

バストス産業館にて

本派本願寺、伯国別院

小原開教総長の

講演会と、映画の夕を催し

ますから、多数の皆様のご聴き

を希望いたします

小原開教総長の御来植は、今回が初めてで御座います

主催 バストス佛教会

御案内

入植祭の初日 (七月十六日)

午前九時より

バストス 墓地前

お地藏さんのお祀りをいたします

お地藏まつり

皆様、お誘い合せて御参詣ください

主催 川辺 イサノ

甘茶接待いたします

其の特色々形式などについて説を聞いていたから、ブラジルのカサメントでは係員が男女双方に対して君は此の人を配偶者として一生、どんな場合も変らずに愛し行くかと聞かれるのでその場合ハイ、一生変らず愛して行きますと、宣誓せねばならないと言ふ事であつた。

そこで私は一寸考えた、何故なら、私達は着伯やつと二三年の新移民のホマホマでもバストスは日本人許りでブラジル語を殆ど必要としていなかつたから、全然勉もして居らず、何を聞かれてもチンパンカンで何時返事したらよいか困りますと言ふと、松本さん暫く考えていて、それではどうしよう。其時はどうせ立合人が二人必要故、私達が立合人として横に立つていて、返事すべき時に君の横腹を一寸突くから、それを合図にすぐ「シン」と言へと言ふことであつた。

家内の側には今一人の立合人(山口勉氏)であつたが同様に合図をするからと言ふ事打ち合せを決つた。

愈々当日となつて、松本氏の自宅まで来て呉れとの連絡で、私達夫婦は工場を一寸暇を賣つて出かけた。

松本さんの家に着いて応接間に入ると既に係員も、今一人の拳者達も来て居られた。見れば係員一人は一寸と判事の様な服装をして居られた。ハハ、此の人が宣誓の言葉を話されるのだなと察して、愈々手続が始まつた。

何をシヤベツテ居るのか全然判らないのだから、こちらを覗き、何時松本さんが合図をするかと戦々兢々として今か今かと待つていた。迎が暫くして自分のお尻の先をトンと突かれてビックリした。おかしいな、松本さんお腹を突つくと言つて居られた筈だが、どうしてお尻の先を突くのたろうかと不思議だつたが、まさか横を見る証にも行かず係員の方を見ると、彼が言葉をお尻の方を見て待つて居る様子、之は矢張り今返事せねばならないのだなと、早速シンと答えたら係員一寸合図する様を仕種をして、又シヤリ出した。次に又係員の言葉が切れたら横腹に居た家がシンと答えた。あとは署名を順々にして、カサメント、シヴィルは終つた。

どう位時間がたつたか知らないが、気がついて見たら、身体中あらら汗をかいていた。大分緊張してかたくなつて居たのだなと、心で苦笑した。そしてお尻を突つたのだなと、松本さんお腹を突く積りであつたのだらうが、松本さんお腹を突く積りでなく、反対に私は可成りノッポなので、見当が違つて、ついお尻を突く結果になつたのだらうと想像した。今から考へれば、おかしな話であらうかも知れないが、實際あつた話で、そしてそれは、一九三五年八月二十七日であつた。

もう一人の方は現在どこに住んで居られるか知らないがバストス発電所に働いていた遊谷潔君である。以上

加州奇談 (一)

五月上旬派米実習生として滞米一ヶ月を過ぎて帰伯した当地カスカッソ区山中を三さんから聞いた土産の中で一寸面白いのを一ツニッ御紹介。
カリフォルニア州サクラムント河は木が枝を張ったようにひろがり流域は山野をなしているがその大平野は多くのアベシムやシツケアなどが農業をやっている。米作野菜果樹いろいろやっている。ところがそのサクラム河だが大きな川だから山パースが居て釣でも行けばいくらか釣れるが、どういいうものか米人は川の魚を食べないという。ブルジルあたりの太公望ならともいってはいない。苦だが米人にきいたわけではないが、只釣れるような下賤なものは口にせぬというのである。
だから川魚はいい気になって小川を通り米作地帯即ち田の中まで上って来ておぼれて稲を倒すという。ドレイは毒薬を撒布して魚を殺してしまふそうである。水取を視察に行った時大きなメートルもある魚があちこちに浮上っているのを見まわしてしまった。どんな魚だ？ ホラだ？ て、一メートルなんてホラだろ？...これでは落語になつてしまふが、一メートルはホラにして、とにかく牧場に牛が沢山あるので川魚など食わぬというのは全くうらやましき次第である。
ところどころ純米人ではないが黒とも茶ともつかぬバカレント族が沢山いて、森の中に小屋をかけ、腹がへると川へ魚をとり出して適当な蛋白質を食つて仕事をせず、ソラリクソリと暮らしているという。従つて生活の程度も低く教養もなく、米人に伍して競争するなという覇気もなく、米国社会の厄介者だぞうである。川魚を食うとあんな種族になるといふ自戒であるか。
次は日本人のつらよごしというのを。

御礼

金二十コントス也。
過日貴下の歓送会と開催の節、貴下より記念のためとて表記金額を御寄贈下さいました、厚く御礼申上げます。

バストス 卓分會
桑原竹次郎様

御礼

秋元登代子
(旧姓 後藤)

私こと長らくコチヤ産組バストス倉庫に勤務して居りました。此のたび結婚を機会に退職いたしました。その節組合従業員の方々、及び組合員の皆様より御丁寧な記念品を御贈り下さいまして誠にありがとうございました。一々御礼に参上いたしかねますので、失礼ながら紙上をかりて御礼申上げます。向寒の折柄皆様の御健康をお祈りして御別れの御挨拶といたします。

五月三十日
コチヤ倉庫関係各位様

御礼

去る五月廿二日バストス支部対抗陸上競技大会に優勝いたしましたので、その祝賀会にたの方々から沢山の御寄付金品のお祝いをいただきました。ここに前記して御礼を申上げます。

五月三十日
ウニオン五区男女青年団

- | | |
|--------|--------|
| 板垣達志様 | 池田佐次郎様 |
| 木場茂盛様 | 貝崎保雄様 |
| 板垣一様 | 橋本様 |
| 星島則雄様 | 本多教雄様 |
| 京野万治郎様 | 松浦様 |
| 中原克己様 | 大野英一様 |
| 土井繁雄様 | 大野正一様 |
| 生方正義様 | 戸川卓一様 |
| 西川統平様 | 溝越平八郎様 |
| 鈴木信雄様 | 弘田茂穂様 |
| 島崎豊志様 | 三波栄美様 |
| 炭谷一美様 | 京野万治郎様 |
| 森王様 | 板垣様 |
| 栗田実竿様 | 星島則雄様 |
| 岩橋酒雄様 | 星島則雄様 |

御礼

故母堂様御孫儀の時香更返しとして
金一封 御寄付いただきましたありがとうございます。

ウニオン五区男女青年団
西川統平様

轉勤御挨拶

梶山博史

私こと長らくバストス南銀支店に勤勞いたし皆様方の御引廻しにより大過なく勤め得ました事を深謝申上りませす。このたび本店よりの指令によりサントアンドレ支店勤務となり赴任することとなりました。出発にあたり送別会など御値し下され餞別を頂くなど大層御世話かけました。私は二十七年バストスに暮し他都市の様子知らぬ者です。か今回始めて聖市近くに乗出すので勇奮の情を禁じ得ませぬ。母弟妹等は御地に残ります。政宜叔御願ひ申上りませす。

先ずは取敢えず、転勤の御知らせを兼ね長年の御庇護に対し厚く御礼申上げます。向寒の折柄御息愛專一の程念い上げます。

五月廿九日 転勤の日
友人知友各位様

Bazar Pombo

ハブ茶

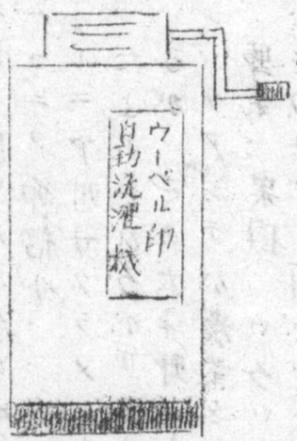
買入れます

数量何程でも大至小量に不拘御持参下さい

バザールポンボ

守越商店

POME. 167



ウーベル印 自動洗濯機

二年間完全保証つき
マキナ「ウーベル」ラヴァネーラ
アウトマツチカ

自動ほり機付 三十分で十五キロのせんたくができます

ご婦人方の福音ノ 実物
こちら下さ

シンガー・ミシン

シンガー・ミシンは 貴女のミシンです

うんしん 運針の軽快さといひ……
スタイル 縫ってよし、ホルタによし

敢えて非のうちにござるが ありません

シンガー・ミシンは あなたの お嫁入り道具です



Casa Taroda

御用命は 太郎田やみん部

Form. 16

お知らせ

青年たちへお話し

来たる六月十八日夜七時

婦人たちへお話し

六月十八日午後二時

加藤千永子先生

講演会

(サンパウロ日本語普及会講師)

場所 バストス南米本願寺

後援 バストス連合青年団
バストス日伯文化協会

一般の方々も御いで下さい

青年への話 婦人への話の王顯で

すか大衆有益な講演です

死亡通知並に会葬御礼

母小竹(78才)儀長らく病氣加療中の処養生相叶わず
 去る五月廿四日午後四時永眠仕り翌廿五日午後
 四時自宅出棺バラスト墓地に埋葬致しました。
 茲に生前御厚誼を賜りました各位に謹告併せ
 て病中御懇篤な御見舞を戴りました事を深謝
 申上げます。
 追而葬儀の節は御多忙中遠路態々御会葬下され
 その上過分な御香料花輪等御供下され誠に有難
 うございまして。一々御回礼申上ぐるが本意で
 すが省畧御寛恕願上紙上に取敢ず御礼御挨拶
 申上げます。

一九六六年五月十八日
 サウイデ区

喪主 五男 塩 館

養子 大塚 善 唯
 長男 塩 館 善 唯
 次男 塩 館 善 唯
 三男 塩 館 善 唯
 長女 塩 館 善 唯
 四男 塩 館 善 唯
 親戚 孫 館 善 唯
 友人 丸田 北谷 山 幸 太

保子 雄一 郎 枝 夫 代 衛 博 同 郎 雄 蔵 殿

サウイデ区御一同様
 サウイデ男女青年団各位
 岡山県人会各位
 バストス南米本願寺様
 バストス南米本願寺
 連合仏教婦人会様
 連合仏教婦人会
 全連合仏教婦人会様
 全連合仏教婦人会
 オールトホーイス
 オスワルドクルス
 バストス在任 各位

CASAS PERNAMBUCANAS

Aviso de Cine-Bastos

六月七日(火) 八日(水) 両夜とも八時 九日(木) 九時半
 東宝 コロッセオ 風来忍法帖 渡美清 佐々木十郎
 六月十日(金) 八時 十一日(土) 九時半
 東宝 コロッセオ 三人よれば 美空ひばり 雪村いづみ 夏木陽夕 高島忠雄
 コロッセオ 七年ふれの三人ムスメ 歌合セ顔合セ 岡田真澄 月形龍之介
 リーフレ

六月十二日(日) 九時 十三日(月) 八時
 松竹 コロッセオ 若いやつ 橋 幸夫 山本豊三 五月女ヨリ
 六月十四日(火) 十五日(水) 両夜とも八時
 東宝 コロッセオ 東宝の本立 サザエさんとエフロン おはさん 三益 清川 古川 藤原 浪花
 コロッセオ 忘れの花びら 司葉子 草笛光子 白川由美 車志正
 久保明 池部良 リーフレ

六月十七日(金) 十八日(土)
 松竹 コロッセオ ローマに咲いた恋 梶野 泉川保 葵京子 リーフレ
 六月十九日(日) 二十日(月)
 松竹 コロッセオ 歌くらへ満月城 白木みのる 南条 三原 島山みどり
 長門 勇 青木 伊屋 島倉千代子
 狸王國のお姫様か洋世の若武者にゴッコン惚れたものがたり 塚本 二 村産一郎

六月十九日(日) 二十日(月)
 松竹 コロッセオ 歌くらへ満月城 白木みのる 南条 三原 島山みどり
 長門 勇 青木 伊屋 島倉千代子
 狸王國のお姫様か洋世の若武者にゴッコン惚れたものがたり 塚本 二 村産一郎

コベルトール
 フラネーラ
 ラン
 テルガール ガジミーラ
 コルシア シイニイレ
 クレトーネ その他冬物たんもの



店内一はい豊富にございます
 大連鎖店(スランテチェーンストア)なりではの安値
 大提供ノノノノ

カーザスベルサズインターナス

バストス支店

日本人店員岡田アテンデ
 レます